

## つなげていきたい親切

宮崎県 梅北小学校 4年 伊東 夢華

わたしは、習い事で都城少年少女合唱団に入っています。合唱団には、3才の子から大学生までいます。みんなで歌ったりおどったりしています。

わたしがわからないことがあると、いつもお姉さんたちが教えてくれます。例えば、おどりがわからず困っていると、それにすぐ気づいて声をかけてくれます。そして、いっしょに何度もおどって、教えてくれます。いつもやさしく教えてくれるので、お姉さんたちに少しずつでも早く追いつきたいです。

合唱団には、小さい子もたくさんいます。いつもお姉さんたちがトイレに連れていったり、整列させたり、歌やおどりを教えたりして、めんどろを見ています。

この前、休けいしているときに、小さい子がもじもじしていました。近くにお姉さんたちはいませんでした。わたしはどうしても気になったので、

「どうしたの。」

と声をかけてみました。すると、

「トイレに行きたい。」

と言いました。だから、すぐにトイレに連れていきました。

そうしたら、

「ありがとう。」

とえがおになったので、こっちまでうれしくてえがおになりました。お姉さんたちのまねをして小さい子に親切にしてみたら、自分もいい気持ちになれることがわかりました。

わたしのもくひょうは、困っている人や小さい子にすぐに気づき、声をかけ、手を差しのべるお姉さんたちです。もくひょうに少しでも近づけるように、これからもっとお姉さんたちの行動をまねしていきたいです。

お姉さんたちがわたしにしてくれた親切を、わたしが小さい子や困っている人たちにして、親切をつなげていきたいです。そうしたらみんなが笑顔になれると思います。